

■大会概要

□開催日時・会場

- ーテーマ:福祉のまちづくり 未来への継承
- ー日 時:2007年8月21日(火)、22日(水)
- ー会 場:東洋大学朝霞キャンパス<〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1>

□開会式

- ー学会長挨拶
- ー大会長挨拶

日時:8月21日 13:00-13:30
場所:講214(大講義室)

□基調講演

「アスリートからみた世界の街角」
大日方邦子氏(パラリンピック金メダリスト)

パラリンピック金メダリストの大日方さんをお迎えし、競技志向が強まるパラリンピックの実態やナショナルチームの海外遠征移動で感じていること、欧米、そして日本の公共交通機関やまちづくりの特徴など、豊富な国内外の経験からアスリートとして活動するために必要な環境についてご講演を頂きます。

日時:8月21日 13:30-14:15
場所:講214(大講義室)



◇プロフィール◇

- 1972年4月 東京都生まれ
- 1976年2月 交通事故により負傷
- 1992年4月 中央大学法学部法律学科入学
- 1996年3月 同 卒業
- 1996年4月 NHK入局
制作局ディレクターとして、教育番組を中心に番組制作を行う
- 2007年6月 (株)電通パブリックリレーションズ 入社
現在、コーポレート室人事総務部 勤務

日本パラリンピック委員会 運営委員
日本パラリンピアンズ協会 副会長
みずほ銀行 ハートフルアドバイザー

【アルペンスキー 主な戦歴】

- 1998年3月 冬季パラリンピック・長野大会
滑降1位、スーパー大回転2位、大回転3位
- 2002年3月 冬季パラリンピック・ソルトレーク大会
大回転3位、回転3位
- 2006年3月 冬季パラリンピック・トリノ大会
大回転1位、滑降2位、スーパー大回転2位
- 2007年1月 ワールドカップ
大回転・第3戦 1位
- 3月 ワールドカップ
スーパー大回転・第4戦 1位
- 2006/2007 ワールドカップ総合
回転3位、大回転4位、スーパー大回転5位、総合4位

◇講演要旨◇

「アスリートから見た世界の街角」

- 競技志向が強まるパラリンピックの実態
- ナショナルチーム海外遠征における移動で感じること
- 北米、欧州、そして日本の街角、それぞれの特徴
- パラリンピックが開催地に残すレジェンド
- 世界の公共交通機関を使ってみて感じること
- アスリートとして活動するために必要な環境とは～街づくりの観点から～

□埼玉県内の福祉のまちづくり活動表彰

公開審査会「まちづくり・ひとの輪づくりコンテスト」最終プレゼンテーション

埼玉県内の福祉のまちづくり分野で活動する市民団体による最終発表と審査・表彰式を行います。応募総数 48 件の中から1次審査を通過した 10 団体が最終公開審査に臨みます。参加者による活動応援投票も行いますので、是非お誘いあわせのうえご参加下さい。

・入選 10 団体

エコとだネットワーク、熊谷市 鎌倉町商店街協同組合、交通アクセス埼玉実行委員会、認定 NPO 法人メイあさかセンター、はあとねっと輪っふる、特定非営利活動法人 土と風の会、特定非営利活動法人 バリアフリー・アートの会わーくぽけっと、東松山女性のネットワーク、富士ゼロックス 埼玉端数倶楽部わかば風の会 (あいうえお順)

日 時： 8月22日 13:00-15:20

会 場： 講義棟 講209

□まちづくり・人の輪づくりコンテスト 応募活動展示

埼玉県内のまちづくり・ひとの輪づくりコンテスト応募団体活動展示

日 時： 8月21・22日両日 9:00-17:00

会 場： 講義棟 2階廊下

□大会同時開催の公開委員会

ー観光 UD ランチョンセミナー

日 時： 8月21日 12:00-12:50

会 場： 会場 A- (講303)

ー法整備特別委員会

日 時： 8月22日 12:00-12:50

会 場： 講213

□企業・自治体展示

企業の CSR 活動、福祉機器・生活支援機器などの展示

日 時： 8月21日・22日両日 9:00-17:00

会 場： 学生食堂

大会スケジュール

会場	セッション番号	8月21日 9:00-10:15
会場-A (講303)	A-1	観光地・観光バリアフリー(1)
会場-B (講307)	B-1	住宅改修
会場-C (講304)	C-1	歩行環境の構造/ユニバーサルデザイン
会場-D (講210)	D-1	福祉機器評価・開発
会場-E (講202)	E-1	地域社会・生活支援

会場	セッション番号	8月21日 10:25-11:55
会場-A (講303)	A-2	観光地・観光バリアフリー(2)
会場-B (講307)	B-2	防犯・防災、交通安全
会場-C (講304)	C-2	共生・気づきのためのプログラムの実践
会場-D (講210)	D-2	BF新法・基本構想策定へ向けて
会場-E (講202)	E-2	まちづくりとユニバーサルデザイン

プレナリー会場		8月21日 13:00-17:00
講214 (大講義室)	13:00-13:25	開会式
	13:30-14:15	基調講演「アスリートから見た世界の街かど」
	14:30-17:00	記念シンポジウム「福祉のまちづくり・これからの10年」
学生食堂	17:30-19:30	懇親会

会場	セッション番号	8月22日 9:00-10:15
会場-A (講303)	A-3	バリアフリー環境評価(1)
会場-B (講307)	B-3	住環境・居住支援(1)
会場-C (講304)	C-3	交通システム
会場-D (講210)	D-3	参画・連携・継続のまちづくり(1)
会場-E (講202)	E-3	案内・誘導・情報バリアフリー(1)

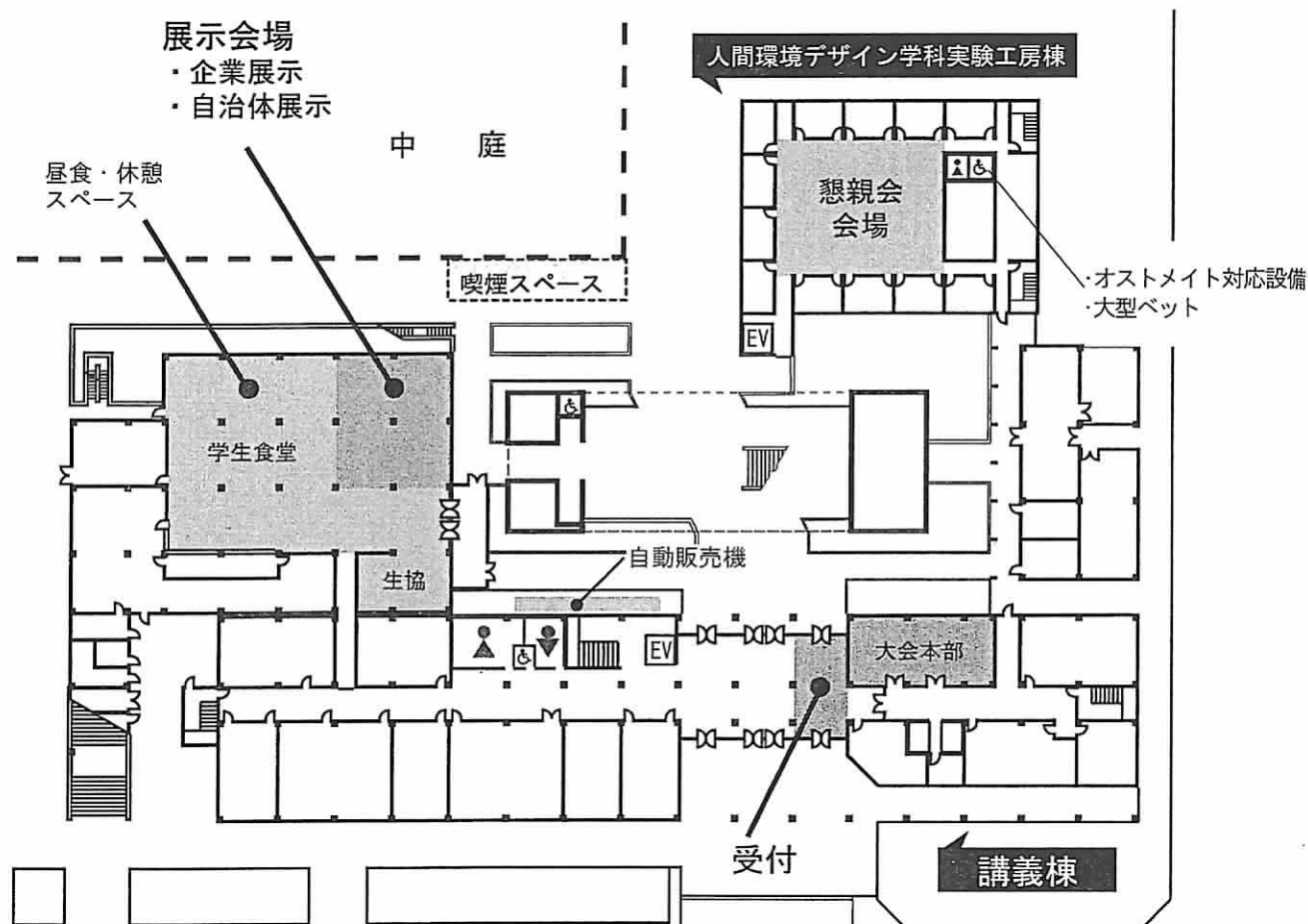
会場	セッション番号	8月22日 10:25-11:55
会場-A (講303)	A-4	バリアフリー環境評価(2)
会場-B (講307)	B-4	住環境・居住支援(2)
会場-C (講304)	C-4	教育・人材育成、教育環境
会場-D (講210)	D-4	利用者特性・検証・提案
会場-E (講202)	E-4	案内・誘導・情報バリアフリー(2)

プレナリー会場		8月22日 13:00-15:20
講209	13:00-15:20	埼玉県下の福祉のまちづくり活動表彰 「まちづくり・人の輪づくりコンテスト」

会場	セッション番号	8月22日 15:30-16:45
会場-A (講303)	A-5	公共の施設環境/サービスのユニバーサルデザイン
会場-B (講307)	B-5	住環境・居住支援(3)
会場-C (講304)	C-5	移動・外出・モビリティ
会場-D (講210)	D-5	参画・連携・継続のまちづくり(2)
会場-E (講202)	E-5	案内・誘導・情報バリアフリー(3)

■会場案内

1 階



- 受付・総合案内：講義棟 ホール
- 展示会場 企業展示・自治体展示：講義棟 学生食堂
- 懇親会（8月21日）：人間環境デザイン学科実験工房棟

●学内設備のご案内

・トイレ

車いす使用者対応トイレ：講義棟1階～3階、人間環境デザイン学科実験工房棟1階・3階
 ※人間環境デザイン学科実験工房内1階のトイレには、オストメイト対応設備・大型ベッドがあります。

女子トイレには、乳児用イス付きブースと乳児用ベッドがあります。（214教室前トイレ除く）

・屋食

講義棟1階の生協、学生食堂をご利用下さい。

【営業時間】生協 11：00～14：00 学生食堂 11：00～14：00

・喫煙場所

1階の喫煙スペース（屋外）のみとなっております。この場所以外での喫煙はご遠慮下さい。

■ 研究発表プログラム

8月21日(火) 研究発表1 (9:00~10:15)

セッションA-1 「観光地・観光バリアフリー(1)」		座長	鈴木克典(北星学園大学)		ページ
会場-A 講303	旅の権利性に関する考察(1) 旅の定義・意義・権利性	井上寛	もっと優しい旅への勉強会	草薙威一郎、黒寄陸、清水政司、菅根原純、中子富貴子	1
	旅の権利性に関する考察(2) 旅の権利を阻害する要因と権利侵害事例	黒寄陸	もっと優しい旅への勉強会	草薙威一郎、清水政司、井上寛、中子富貴子、菅根原純	5
	地域協働による観光ユニバーサルデザインの実現-小樽での地域協働による観光ユニバーサルデザインの取組み紹介-	鶴東俊哉	国土交通省	千葉淳、佐藤賢司、	9
	地形・雪の魅力とバリアに考慮した地域づくりに関する研究 -坂・雪のまち小樽における観光ユニバーサルデザインの展開-	大島淳之	日本大学	伊藤輝、江守央、横山哲	11
	冬の北海道旅行に対する道外居住の障害者と健常者の意識調査	三浦春菜	首都大学東京	新谷陽子、原文宏、秋山哲男	15

セッションB-1 「住宅改修」		座長	野口裕子(聖学院大学)		ページ
会場-B 講307	住宅改修における事前申請および「理由書」標準様式による効果-兵庫県内自治体を対象とした実態調査を通して-	神吉優美	東洋大学	室崎千重、糟谷佐紀	19
	東京都における介護保険による住宅改修の実態調査について(その1)	小池和子	住環境・建築研究室	石川彌榮子	23
	東京都における介護保険による住宅改修の実態調査について(その2)	石川彌榮子	城西国際大学	小池和子	27
	地域包括支援センターにおける住宅改修の取組み状況とセンターの機能・役割	阪東美智子	国立保健医療科学院	鈴木晃	31
	住宅改修の内容と効果に関する事例調査研究	西野亜希子	東京大学大学院		35

セッションC-1 「歩行環境の構造/ユニバーサルデザイン」		座長	齊場三十四(佐賀大学)		ページ
会場-C 講304	横断歩道部の歩車道境界の構造についての研究	藤村万里子	財団法人国土技術研究センター	林隆史	39
	車両交通による視覚障害者用道路横断帯(エスコートゾーン)の摩耗と利用者評価について	大杉建大	岡山県立大学	田内龍規、中村孝文、吉田洋美、大倉元宏	43
	高齢化時代における生活道路のユニバーサル舗装材料の評価-ウッドチップや土舗装の硬さと夏場の路面温度-	藤森新作	(独)農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所	小倉力、若杉晃介、坂口陸男	45
	車いすに配慮したタイル舗装の目地幅・目地間隔について	岡村美好	山梨大学大学院		49
	歩行ネットワーク・歩行空間のユニバーサルデザイン化に関する研究-東松山ゆくりウォークコースのユニバーサルデザイン化に関する研究-	清水政司	東洋大学大学院/(財)地域開発研究所		53

セッションD-1 「福祉機器評価・開発」		座長	林 豊彦(新潟大学)		ページ
会場-D 講210	ハンドル型電動車いすの鉄道利用に関する検討	鎌田実	東京大学大学院	利光国高	57
	プラットフォームと列車間バリアの手動車いすに対する負荷評価と乗降安全性確保に関する研究	橋詰努	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	北川博巳、室崎千重、米田郁夫、藤澤正一郎、末田統	61
	呼吸器センサーを用いた電動車いすインターフェースの開発-呼吸スイッチを用いた電動車いすの開発-	北岡剛	Techno Craft	坊岡正之	65
	電動車いす用スライド型ジョイスティックの操作特性(その3)	坊岡正之	広島国際大学	末田統、藤澤正一郎	67
	福祉機器商品化支援で利用者が重要と考えた評価項目	藤井直人	神奈川県総合リハビリテーションセンター	関藤全孝	71

セッションE-1 「地域社会・生活支援」		座長	小山聡子(日本女子大学)		ページ
会場-E 講202	「国立のぞみの園」の地域移行の取組みについて-共同生活介護での実践-	松永千恵子	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園/日本社会事業大学大学院		75
	柏市における発達障害者支援の取組み	松井宏昭	特定非営利活動法人 自閉症サポートセンター		79
	自閉症の人が利用する施設におけるパーテーション利用	増澤高志	生活工房/仙教大学	松井宏昭	81
	豊田市における福祉有償サービスの利用者意識に関する研究	内藤雄介	豊田工業高等専門学校	野田宏治、荻野弘	83
	地域へ再アプローチする社協の役割と課題 愛知県T市社協による地域福祉懇談会のプロセス研究	荒川幸之	地域情報研究所(株)コムデザイン		87

セッションA-2 「観光地・観光バリアフリー(2)」		座長	秋山哲男(首都大学東京)		ページ
会場-A 講303	バリアフリーツーリズムの視点から見た着地型旅行の可能性-行政、NPO、観光業者の連携と地域社会-	中子富貴子	大阪市立大学大学院		91
	竹原市における交流定住促進の方向性について -広島県ロングステイ型観光促進事業モニターツアーから得た課題-	枝美宗	広島商船高等専門学校	今栄敬彦、中川隆二	95
	既存民間建築物のバリアフリー化をめざして-市民協働による観光バリアフリーの取り組みから その2-	岩浦厚信	宮崎市役所		99
	観光地トイレの使用者調査	久保雅義	京都工芸繊維大学大学院	竹村佳奈	103
	英国における歴史的建築物のアクセシビリティについて	大塚毅彦	明石工業高等専門学校		105
誰でも楽しめる銭ヶ浦 マリンスポーツのバリアフリー化事例発表 らくらくヨット・アクセスティンギー	秋元昭臣	京成マリーナ		109	

セッションB-2 「防犯・防災、交通安全」		座長	古瀬 敏(静岡文化芸術大学)		ページ
会場-B 講307	生垣の視認性に関する研究-戸建住宅の監視性・見守り性に関する研究その1	吉田健	積水ハウス株式会社	田中賢	113
	地震災害における家具類の転倒予防対策の取り組みについて-家具類の転倒防止施工部隊の養成と施工キャンペーンの活動を通して-	児玉道子	名城大学大学院	鈴木博志、宮崎幸恵	117
	認知症グループホームにおける火災時の安全突処に関する基礎的調査	村井裕樹	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	志田弘二、八藤俊彦、野村数	121
	災害弱者の避難方法と課題	有賀絵理	茨城大学地域総合研究所		125
	交通安全地域協働推進事業-高齢者事故防止対策活動-について	高井広行	近畿大学		129
	高齢ドライバーの運転スキル向上への試み	溝端光雄	(財)東京都老人総合研究所		133

セッションC-2 「共生・気づきのためのプログラムの実践」		座長	今田寛典(呉大学)		ページ
会場-C 講304	多様な障害当事者・支援者の考えた「障害理解」イベントの事例-万博型イベント「スポーツ・遊びでバリアフリー!」の記録-	北村まさみ	つくばバリアフリー学習会		137
	地域における福祉のまちづくりワークショップの実践-福岡市での取り組みを通して-	繁成剛	東洋大学		141
	中学生による駅のバリアフリー調査とWebページによる情報発信の10年-社会貢献という社会的機能性を強化した実践と効果-	上田学	大阪教育大学附属天王寺中学校		143
	中高生の車いすリサイクルプロジェクトがアジアのバリアフリー社会へ与えた影響	上田学	大阪教育大学附属天王寺中学校		147
	障がいのある人とともに作る新しいステージワーク-西東京アクターズスクールの可能性-	鈴木隆雄	特定非営利活動法人 市民サポートなかま(自立生活センター所沢ファンダム)		151
	機能ユニット統合システム指数と利用者評価指数を用いたドイツ・北欧諸国の統合センターに関する現状分析	伊藤敦	自由が丘産能短期大学	関田康慶	217

セッションD-2 「BF新法・基本構想策定へ向けて」		座長	山田 稔(茨城大学)		ページ
会場-D 講210	交通バリアフリー法基本構想における特定経路の計画に関する考察	蛸村ひろ枝	首都大学東京大学院	秋山哲男、三浦春菜	155
	江東区における交通バリアフリー基本構想及び特定事業計画策定の取り組み	高垣克好	江東区役所	山田稔、沼尻恵子、寺島薫	159
	交通バリアフリー基本構想に基づく特定事業等の推進に関する考察	永元真也	株式会社アルメック	三浦春菜、秋山哲男、高橋信平	163
	地域外利用者を想定した観光交通バリアフリーに関する研究	北川博巳	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	足立啓、高坂憲治	165
	知的障害者・精神障害者の移動に関する問題点の抽出	重村淳志	株式会社修成建設コンサルタント	三星昭宏、柳原崇男、近森真人、沼田権介	169
	発達障害の観点からみたバリアフリーの促進	長谷川万由美	宇都宮大学		173

セッションE-2 「まちづくりとユニバーサルデザイン」		座長	川内美彦(アクセスプロジェクト)		ページ
会場-E 講202	都市スケール模型による視覚障がい者の空間認識に関する基礎的研究	江守央	日本大学	伊澤岬、横山哲	177
	商店街におけるユニバーサルデザインのまちづくり-世田谷区松陰神社通りの実践事例-	山崎靖之	有限会社エヌワイネットワーク		181
	住民参加による「江東区やさしいまちづくり」の計画策定から整備実現の経緯-ユニバーサルデザインの視点によるサインシステム「江東区やさしいまちの誘導システム」の事例報告 その1-	福永順彦	場所づくり研究所プレイス	榑津勝弘、原利明、岩田三千子、田中直人、中村豊四郎、萩野美有紀、松田健二	185
	住民参加型ワークショップによるサインシステムの検討-ユニバーサルデザインの視点によるサインシステム「江東区やさしいまちの誘導システム」の事例報告 その2-	松田健二	東京大学大学院	岩田三千子、田中直人、中村豊四郎、萩野美有紀、原利明、榑津勝弘、福永順彦	189
	「江東区やさしいまちの誘導システム」設計・整備のプロセス-ユニバーサルデザインの視点によるサインシステム「江東区やさしいまちの誘導システム」の事例報告 その3-	中村豊四郎	アール・イー・アイ株式会社	榑津勝弘、福永順彦、原利明、萩野美有紀、田中直人、岩田三千子、松田健二	193
	駅前再開発地区へのユニバーサルデザイン導入事例(中間報告)	森崎康宣	側空間設計		197

セッションA-3 「バリアフリー環境評価(1)」		座長	北川博巳(兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所)		ページ
会場-A 講303	バリアフリーからみた駅周辺施設に対する利用者意識	堤昌文	西日本工業大学		199
	身体属性の視点に基づく公共空間の情報環境に関する現況分析 「外出と交通の案内についてのアンケート」調査より	岡田光生	NPO法人 まちの案内推進ネット	伊藤達司、釜塚文隆	203
	地域住民による駅及び駅周辺地域の移動しやすさ評価(その2)一歩行環境の物理的 環境評価と移動のしやすさ感の関係性一	佐藤克志	日本女子大学	大村薫	207
	住宅地の歩道整備が地域内商業施設の利用に及ぼす影響評価に関する研究	山田稔	茨城大学		211
	バリアフリーのまちづくりの当事者評価のバイアスと補正～愛知県内のバリアフ リーのまちづくりの経年評価から～	尾崎由利子	地域情報研究所 株式会社コム デザイン		215

セッションB-3 「住環境・居住支援(1)」		座長	狩野徹(岩手県立大学)		ページ
会場-B 講307	長野県における公民協働による地域拠点づくり	宮崎幸恵	東海学園大学	鈴木博志、児玉道子	221
	都内高齢者宅における床暖房とエアコン暖房の使用実態	前川佳史	東京都老人総合研究所	小太刀一光、大竹登志子	225
	ミストサウナを活用した高齢者の入浴方法に関する研究	小太刀一光	東京ガス株式会社	前川佳史	229
	特別養護老人ホームにおける身体機能別にみた入浴ケアの現状	太田明彦	川崎医療福祉大学大学院	川本悠人、斎藤芳徳、 山口健太郎、松本正富	233

セッションC-3 「交通システム」		座長	長谷川万由美(宇都宮大学)		ページ
会場-C 講304	住民が主体となった地域交通計画の実現性に関する研究	猪井博登	大阪大学大学院		237
	過疎地域における生活交通の再構築と市民モビリティに関する研究 一青森県八戸市南郷区における取り組みをケーススタディとして一	吉田樹	首都大学東京	秋山哲男	241
	路線バスと過疎化 一バスが果たしてきた役割一	高橋慎治	広島国際大学大学院	開宏之、坊間正之	245
	ワンステップバス希少地域における有効なバスの運用一ワンステップバス未導入路 線における予約運行の事例一	鈴木廣一	国際医療福祉大学バリアフリー 研究会	若倉健	249
	STS・移送サービスのネットワークの仕組みづくりに関する実証運用と評価一「いた ばし福祉移動支援センター」の実験を例として一	藤田光宏	八千代エンジニアリング株式会 社	上野容子、菅原宏明、 戸谷奈穂子	251

セッションD-3 「参画・連携・継続のまちづくり(1)」		座長	木村一裕(秋田大学)		ページ
会場-D 講210	行政におけるNPO法人の社会的信用評価に関する研究	平田賢典	立教大学大学院	中村陽一、佐取朗	255
	非営利組織による環境改善活動の実証報告 バリアフリーデザイン研究会のこれま での活動と今後の課題	西島衛治	九州看護福祉大学大学院		259
	社会資本のユニバーサルデザイン・ガイドラインの作成一新潟県土木部における 「気づきのガイドライン」の試み一	高橋忠栄	新潟県庁		263
	福祉のまちづくり条例の課題と今後の方向性についての考察 一世田谷区ユニバ サルデザイン推進条例の制定から一	男鹿芳則	世田谷区役所		267
	生徒といっしょに、先生方といっしょに、みんなといっしょに、一障害当事者とし て地域で生きる一	三戸学	由利本荘市立本荘東中学校	工藤俊輔	271

セッションE-3 「案内・誘導・情報バリアフリー(1)」		座長	鎌田 実(東京大学)		ページ
会場-E 講202	大規模空間における地図の表現方法とわかりやすさに関する研究一道に迷いやすい 人でもわかりやすい地図・わかりにくい地図の考察一	池田千登勢	東洋大学		275
	海外諸国における点字表示・触知案内図の普及の程度に関する報告	和田勉	社会福祉法人日本点字図書館	土井幸輝	279
	暗眼者を対象とした盲導鈴に関する検討	上田麻理	九州大学大学院/兵庫県立福祉の まちづくり工学研究所	高田正幸、岩宮真一郎	281
	まちなかに設置する音サイン誘導システムの事例紹介	武者圭	サウンドスケープ・デザイナー	中村豊四郎、萩野美有 紀、原利明、前田耕造	285
	高齢者が手がかりとする聴覚情報と公共空間の音環境	船場ひさお	音環境デザインコーディネー ター		289

8月22日(水) 研究発表4 (10:25~11:55)

セッションA-4 「バリアフリー環境評価(2)」		座長	高井 広行 (近畿大学)		ページ
会場-A 講303	GPS カメラ画像から取得できる公園緑地バリアフリー情報の特徴	美濃伸之	兵庫県立大学/淡路景観園芸学校	奥山俊博	293
	公共機関のバリアフリー化データベースのデータ項目作成についての理念的考察— 全身性障害者の社会参加を念頭に置いて—	箱尊恒信	大谷大学大学院		295
	面的バリアフリー状況の評価手法の研究	沼尻恵子	(財) 国土技術研究センター	林隆史、藤村万里子	299
	市街地における障害者のための経路選択システムの構築	原正一郎	豊田工業高等専門学校	市川友子、野田宏治、浦野雅弘、萩野弘	303
	ユニバーサルデザインによるまちづくり支援ツールの開発	沢田英一	清水建設株式会社		307

セッションB-4 「住環境・居住支援(2)」		座長	菱輪裕子 (聖徳大学短期大学部)		ページ
会場-B 講307	京町家における現代的な生活空間の構築	大北志帆	京都工芸繊維大学大学院	久保雅義	311
	民間分譲マンションにおける「住み続けられる」要件に関する研究— 東京都江東区を対象地として—	坂本千晴	特定非営利活動法人まちしゅう	木村直紀、古山周太郎	313
	高齢期の住み替え選択決定要因— ヒルズガーデンあずまの居住者を対象として—	田村巖	湘ミサワホーム総合研究所	星野俊樹、佐藤克志	317
	高齢化した郊外団地における住民相互の助け合いシステム構築の試み	室崎千重	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	神吉優美	321
	個性豊かな生活を継続可能な高齢者居住環境の計画に関する研究— ノルウェーの Life time care home における実態調査に基づくケア付集合型高齢者ホームの居住環境計画に関する考察—	山田義文	東京大学大学院		325
	高齢者向け優良賃貸住宅の時系列で見た居住の変化に関する研究 その2— ビバースNにおけるよろずやの活動と共用空間の利用に関する入居者の意識—	稲垣亜希子	明治大学大学院	園田真理子	329

セッションC-4 「教育・人材育成、教育環境」		座長	伊澤 岬 (日本大学)		ページ
会場-C 講304	安全・安心に関する演習講義手法の提案— 福祉住環境・ユニバーサルデザイン教育手法の提案— その1	田中賢	日本福祉大学	吉田健	333
	大学におけるユニバーサルデザイン教育の試み	古瀬敏	静岡文化芸術大学		337
	英国のインクループデザインおよび米国のユニバーサルデザイン教育に関する考察	大塚毅彦	明石工業高等専門学校		341
	学校のインクルーシブ環境に関する研究— その1. 学校バリアフリー化への制度と実態—	木下稔	東洋大学大学院	高橋雅平	343
	大学における障害学生支援の環境整備に関する研究— 国内の先進事例にみる障害学生支援室の整備実態—	山崎晋	明治大学大学院	園田真理子	347
	ユニバーサルデザインまちづくりを担う実践的人材の養成— 埼玉県ユニバーサルデザイン実践リーダー養成講座の取組み—	寺島薫	(株) アークポイント	川内英彦、福永順彦	351

セッションD-4 「利用者特性・検証・提案」		座長	藤井直人 (神奈川県総合リハビリテーションセンター)		ページ
会場-D 講210	膝関節負荷から見た高齢者の便座立ち座り動作における手すりのあり方に関する研究	橋本美芽	首都大学東京	平山清美、勝平純司、高塩成洋	355
	公共トイレの標準化に関する研究— その4 大便器まわりの手すり検証—	竜口隆三	TOYO株式会社	高橋雅平、金子祐二、河野裕之、高崎 洋	359
	階段手すりの設置高さに関する研究— 階段勾配と使用動作・行為による比較—	加藤正男	ナカ工業㈱ 技術研究所	庄司成夫、久保田一弘、田中真二、後藤善明、布田健、古瀬敏	363
	傾斜路における片麻痺者の歩行挙動解析— 高齢者疑似体験を通して—	磯部友彦	中部大学		367
	車椅子の片手片足駆動によるスロープ上りからみたスロープ勾配の検討	徳田良英	帝京平成大学		371
	ユニバーサルファッションの取り組みと今後の普及— 既往研究の考察から—	大濱幸香	東洋大学大学院	高橋雅平	375

セッションE-4 「案内・誘導・情報バリアフリー(2)」		座長	中野康志 (慶應義塾大学)		ページ
会場-E 講202	柏瀬眼科の医院づくりの取り組みについて— 視認性に配慮した医院づくり—	原利明	鹿島建設株式会社	千葉茂、柏瀬光寿	379
	ロービジョン者の視機能と外出時の歩行特性に関する研究	柳原崇男	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	北川博巳、三星昭宏、斎藤圭亮	381
	LED誘導マークへの可視光通信の適用に関する研究	大森清博	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	杉本義己、北山一郎、柳原崇男、北川博巳	385
	若年者と高齢者における流れ文字の最適速度	塚田由紀	(株) 交通安全環境研究所	大野寛之	387

8月22日(水) 研究発表5 (15:30~16:45)

セッションA-5「公共の施設環境/サービスのユニバーサルデザイン」

		座長	糟谷佐紀(神戸学院大学)		ページ
会場-A 講303	障害の種類別や使用補装具別にみた建築物の障壁による困難に関する研究	橋本彼路子	一級建築士事務所スタジオ3	野村敦、八藤後猛	389
	ホテルのユニバーサルデザイン化の現状と課題	人見剛史	東洋大学大学院	高橋信平、田村房義	393
	ビジネスホテルにおけるユニバーサルルームの開発と問題点 -東横インにおけるユニバーサルデザインへの取り組み(その1)-	飯島美佐緒	株式会社 東横イン	梅田洋子、川内美彦	397
	ビジネスホテルにおけるユニバーサルサービス体制の構築 -東横インにおけるユニバーサルデザインへの取り組み(その2)-	梅田洋子	株式会社 東横イン	飯島美佐緒、川内美彦	401
	金融機関におけるバリアフリー化への取組状況に関する報告	平田賢典	みずほ総合研究所株式会社		405

セッションB-5「住環境・居住支援(3)」

		座長	阪東美智子(国立保健医療科学院 建築衛生部)		ページ
会場-B 講307	スウェーデンにおける関節リウマチ患者の住環境整備の状況(その3) -包括的住環境整備の実施状況-	水村容子	東洋大学		407
	高度医療を受療する子どもと家族のための滞在施設に関する研究	古谷聡子	株式会社産学共同システム研究所	八藤後猛、野村 敦	411
	精神障害者向け賃貸住宅の確保に関する研究-不動産業者とグループホームへの聞き取り調査-	菱輪裕子	聖徳大学短期大学部	城戸美和	415
	東京都荒川区における重度身体障害者グループホームの建築設計プロセスを通しての考察	文村秀哲	特定非営利活動法人 ソフトデザインプランニング	野口祐子	419

セッションC-5「移動・外出・モビリティ」

		座長	磯部友彦(中部大学)		ページ
会場-C 講304	福祉移動サービスの共同配車センターの試み(その1) -世田谷区福祉移動支援センター「そとでる」のスキーム-	寺島薫	(株)アークポイント	秋山哲男、福田卓矢	423
	福祉移動サービスの共同配車センターの試み(その2) -世田谷区福祉移動支援センター「そとでる」の運用結果-	福田卓矢	(株)アークポイント	寺島薫、秋山哲男	427
	高齢者の外出に用いる用具と使用環境に関するニーズ	橋本美芽	首都大学東京		431
	パーソナル・モビリティとまちづくり	白石正明	国際「時」'xiv'・エイジング研究所		433

セッションD-5「参画・連携・継続のまちづくり(2)」

		座長	森嶋康宜(運空間設計)		ページ
会場-D 講210	福祉用具開発を中心にしたまちづくり-愛知県名古屋市の製造業集積地帯における移乗いす開発プロジェクトの経験から-	尾崎由利子	地域情報研究所 株式会社コムデザイン		437
	多様な障害当事者を含めたパートナーシップ検討組織による計画立案-「練馬区福祉のまちづくり総合計画」策定事例-	小野貞子	練馬区役所	三谷千瀬、杉崎和久、寺島薫	439
	計画実現を重視した行政計画の構成と推進施策について-「練馬区福祉のまちづくり総合計画」策定後の取り組み-	三谷千瀬	練馬区役所	小野貞子、杉崎和久	443
	計画推進に対する公募型助成金制度の効果について-練馬区福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業を事例として-	杉崎和久	(財)練馬区都市整備公社	三谷千瀬、小野貞子	447
	公私対立から宥和へ-韓国大邱市の「崩壊し運動」を事例として-	趙汝授	東京大学大学院		451

セッションE-5「案内・誘導・情報バリアフリー(3)」

		座長	原 利明(鹿島建設)		ページ
会場-E 講202	情報バリアフリー法創出の提案	中園秀喜	株式会社ワールドバイオニア		455
	エスカレーター事故防止のためのバリアフリー・マーク -運動方向判断に及ぼすハンドレールのマークの効果-	中野泰志	慶應義塾大学	新井哲也、永井伸幸	459
	インターネット通信販売のウェブ・アクセシビリティの実態(その2) -評価尺度の検討-	栗川隆宏	鳥大学	高 瑛	463
	異常3色覚シミュレーションの開発	野村哲男	岡山理科大学大学院	松浦洋司	467